

初詣に行こう!

意外と知らない? お参りのお作法

お正月といえば初詣。みなさんは毎年初詣に行きますか?でも、お参りの仕方をはつきり知らない、何となく見よう見まねでやっている、という方も多いのでは?そこで、初詣での正しいお参りの方法や時期、またお賽銭の作法などについてご紹介します。日本人には馴染みも深い神社やお寺。毎年決まった場所へ行く方も、今年は何処へ行ってみようかな?と思っている方も、もう一度正しいお作法を身につけて、今年は新たな気持ちで初詣へ行ってみませんか?

初詣の時期

もともとは「新年に初めて参詣して、その一年の幸せを祈願すること」が初詣です。その年最初なら細かい日には気にしなくても大丈夫。1月3日まで、1月7日まで、1月15日まで、1月中、という区切りの中で、都合に合わせてお参りしてください。また、1年無事に過ごすことができたり、ご利益を感じることもできたなら「お礼参り」も忘れずに。お正月に限らず、旅先などで名所になっている神社仏閣へお参りするのでもいいですね。どんなときも感謝の気持ちを忘れず、お参りをする気持ちが大切なのです。



参拝のお作法

神社編

- 一、鳥居をくぐる前に浅く一礼しましょう。
- 二、参道の中央は神様の通り道。中央は避けて左右どちらか端の方を歩きます。
右端を進むときは左足から、左端を進むときは右足から入るといって覚えてください。
- 三、手水舎で手と口を清めます。
- 四、浅くお辞儀をしてから賽銭箱に賽銭を静かに入れます。
- 五、鈴を一度だけ鳴らします。
- 六、二礼二拍手一礼して、祈願をします。
- 七、最後は一度深いお辞儀をします。
- 八、帰る際には鳥居をくぐってから振り返り、一礼して失礼しましょう。

手水舎でのお作法

- 一、右手で柄杓を持って水を汲み、左手を洗います。
 - 二、柄杓を持ち替えて、右手を洗います。
 - 三、もう一度柄杓を右手に持ち、左の手のひらに水を受けて口をすすぎます。
 - 四、すすぎ終わったら使った左手も洗います。
 - 五、柄杓を手前に傾けて柄杓の柄を洗います。
 - 六、元の場所に柄杓を伏せて置きます。
- ★この順番で、水は最初に汲んだ一杯で済ませます。
★柄杓に口をつけてはいけません。口をすすいだ水は、他の人の迷惑にならないところにそっと吐き出します。



お賽銭の作法

お賽銭は「願い事を叶えてもらうため」ではなく「神様や仏様にいただいた幸福への感謝」を表したものです。お金を投げ入れる「投げ銭」という方法もありますが、もともとはお供えの代わりのお賽銭。賽銭箱へは静かに入れましょう。金額は「ご縁があるように」5円、「重ね重ね」ご縁があるように「5円」と5円玉を2枚など、いろいろ言われていますが、その時の感謝に見合った自分なりの金額で構いません。

お寺編

- 一、山門をくぐる時に浅くお辞儀をしましょう。
- 二、参道は端を歩きます。
- 三、手水舎で手と口を清めます。
- 四、ろうそくや線香が用意されているなら購入して立てます。火をつける時は、他の人のろうそくからもらおうと、その人の業までもらってしまうと言われるのでやめましょう。
- 五、賽銭箱に賽銭を静かに入れます。
- 六、姿勢を正して合掌し、深くお辞儀をします。神社と違って拍手はしません。
- 七、帰る際には門をくぐってから振り返り、一礼して失礼しましょう。

それぞれの神社やお寺によって作法が違う場合もあります。多少間違っても問題はありませんが、大声で騒いだり長時間拝殿の前を占有するマナー違反はやめましょう。また、神社とお寺、入り口はそれぞれ鳥居と門で異なりますが、どちらも入るときには一礼してから鳥居や門をくぐり、帰るときは鳥居や門をくぐってから振り返り一礼するという、基本のマナーは変わりません。

神奈川県の人気初詣スポット

川崎大師 平間寺

厄除けのお大師さまとして親しまれています。京急大師線「川崎大師駅」から徒歩8分

寒川神社

八方除の守護神として災難を事前に除いてくれます。JR相模線「宮山駅」から徒歩5分

鶴岡八幡宮

流鏝馬(やぶさめ)でも有名な古都鎌倉のシンボルです。JR横須賀線「鎌倉駅」から徒歩10分

大山阿夫利神社

眺望も素晴らしい、日本遺産に認定された「大山詣」です。小田急線「伊勢原駅」からバス「ケーブルカー」を乗り継ぎ「阿夫利神社駅」すぐ

